

第 8 回「日本薬剤学会 製剤技師認定試験」実施のご案内

試験実施日：10月21日（土曜日）

日本薬剤学会では、医薬品企業等において製剤に携わる研究・開発・製造担当者が、日常業務の遂行上必要とされる共通の基礎的かつ専門的事項及び法規・制度の学識を修得している人々を対象として「製剤技師」として認定する制度を立ち上げ、既に7回の試験を行い、これまでに合計155名の「認定製剤技師」が誕生しています。気鋭の製剤研究者・技術者の方々には、本制度の主旨と以下の概要をご理解のうえ、ぜひ奮って受験されますよう、お勧めいたします。

なお、受験の意思を早期に決定し、万全の準備のもとに試験に臨んでいただくことを意図して、6月末までは早期受付が適用され、受験料を会員・非会員とも1万円減額することにしております。

本試験に合格し所定の申請手続きをされた方には、学会から「製剤技師認定証」が授与されます。

また、特典として、認定者のうち非会員の方には1年間、準会員として学会参加及び機関誌の送付などの優遇措置が与えられます。《詳細は本学会ウェブサイト www.apstj.jp をご参照下さい。》

製剤技師認定委員長 岡本 浩一

受験資格：製剤関連業務に5年以上従事した方

医薬品・食品・化粧品等の製造企業、並びに病院、大学、その他の研究機関において、製剤関連業務に5年以上従事した方（自己申請）、またはこれらに相当する実務実績を有する方（所属長の証明書が必要）であれば、どなたでも受験可能です。

試験の形式と問題の構成／時間配分

	出題分野		問題数	出題分野	問題数			
	物理薬剤学	8			必須	選択		
基礎編	生物薬剤学	8	応用編	固形製剤	4	10	配点： 基礎編 =1問2点 応用編 =1問3点	
	製剤学	8		無菌製剤	4	10		
	レギュレーション	6		その他製剤	4	10		
	製剤を扱うものであれば知っておくべき基本的な知識			代表的な製剤ごとに比較的専門的な製剤知識について問うもの		} 18問 選択		
	問題総数：72問			30	←解答総数：60問→			12
基礎編・試験時間：75分		～休憩：15分～		応用編・試験時間：90分				

第1回～第7回の全問題と正解及び試験出題項目は、本学会ウェブサイトにて公開中です。また、試験問題の解説は Pharm Tech 誌（じほう社）の Vol.27（2011年）～Vol.33（2017年）に、問題及び正解とともに順次公開されていますので、問題の傾向と難易度を参考にしてください。

さらに、効率的な受験準備の一助として、試験の傾向と対策をまとめた“日本薬剤学会認定「製剤技師」試験問題集”（じほう社、2015年発行）および“製剤の達人による製剤技術の伝承”上・下巻（じほう社、2013年発行）を是非ご活用ください。

受験申込期間

早期受付*：5月1日（月）～6月30日（金）← 受験料が「1万円減額」。今年度は終了しました。
後期受付：7月1日（土）～10月6日（金）

試験日・試験会場

試験日：10月21日（土）13:00～16:20

試験会場：東京会場＝慶應義塾大学三田キャンパス（港区三田），神戸会場＝神戸薬科大学（神戸市）

受験料

会員：3万円，非会員：4万円。合格時の認定料は、会員・非会員とも2万円。

申込後の受験料の返却は原則として行いません。